

高山社情報館

世界文化遺産「高山社跡」。その価値をより多くの人に伝えたい、養蚕で藤岡と世界が繋がったことを感じてほしい。

世界遺産の価値を伝えていくために、高山社情報館は高山社跡と人をつなぎます。

問い合わせ 文化財保護課(☎23)5997)



▲高山長五郎翁像(藤岡ロータリークラブ寄贈)に見守られる高山社情報館

高山社情報館DATA

- ◆所在地：藤岡市高山217-1 ◆電話番号：0274-23-7703
- ◆開館時間：午前9時～午後5時(6～8月は午後6時まで)
- ◆入館料：無料 ◆休館日：年末年始

開館

多目的空間の展示
オープン式典
蚕室



高山社跡の価値

「養蚕改良高山社」の創始者である高山長五郎は「清温育」という養蚕方法を確立し、養蚕技術の分け隔てのない普及を行うことで多くの農民を豊かにしました。この「みんなで豊かになろう」という気持ちで、長五郎の信条「国利民福」として伝えられています。

長五郎の没後もその意志を継いだ町田菊次郎によって「高山社蚕業学校」が設立され、全国各地の生徒が学びました。卒業生が技術を故郷に持ち帰ること、高山社から養蚕教師を派遣することで養蚕技術を全国に伝え、日本の蚕糸業を支えました。また、国外からも生徒を受け入れ、日本のみならずアジアの絹産産を根底から支えたことが「高山社」の功績です。

高山社跡は「文化遺産」であるため、一目ではその価値がわかりにくい遺産ですが、解説や展示を通して高山社の価値を伝えていきます。

高山社情報館

高山社跡の周辺、面積約1万5350㎡を「世界遺産高山社跡交流センター」とし、遊歩道や桑園、駐車場、

多目的広場などを整備してきました。その中核であるガイダンス施設「高山社情報館」が4月8日に開館しました。外には「高山長五郎翁像」がたえずみ、情報館を見守り来訪者を迎えます。

情報館には多目的空間や蚕室、観光案内所などがあり、高山社の価値と市内の観光情報を発信できる施設となっています。多目的空間には高山社の功績を解説したパネルや養蚕道具など、分教場や養蚕教師の活動がしのばれる資料が展示されています。また蚕室では時期により実際に蚕を飼育し、屋外の見本桑園と合わせて養蚕が身近に感じられるようになっています。

藤岡市、そして世界の「遺産」

高山社の功績や精神を理解することは藤岡市を誇りに思うことにつながります。また、それを後世に伝えることは世界遺産をもつ私たちの役割です。高山社情報館の開館をきっかけに、もう一度高山社の価値を感じてみましょう。

高山社情報館は高山社の功績や養蚕そのものを知る機会を作ると共に、訪れる人々に養蚕と藤岡市の結びつきを印象付けるでしょう。